

2020年度

事業報告書

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

一般財団法人 日本経営史研究所

令和 2 年度事業報告

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

○ 令和 2 年度の事業と収支の概要

令和 2 年度における事業活動と収支について、その概要を報告いたします。

当該年度においては、従来から継続する研究活動ならびに会社史の編集受託事業、出版事業、そのほか公益的な関連事業活動の遂行に努めてまいりました。

会社史の編集受託事業につきましては、『ダイキン 100 年史』の受託に向けて、企画内容および契約書についてダイキン社史編纂室との検討を進めてきましたが、詳細な目次案を添付して社内決済に提案したいとの同編纂室の意向によって、各執筆者に依頼して詳細目次の作成に着手しました。また、昨年まで執筆を続けてきました『井上語録』は執筆を完了し、タイトルを『経営は人の営み——夢の実現に新たな挑戦を』と改めて社内校閲に臨みましたが、刊行の承認を得ることができず、ダイキンのアーカイブに収納して活用方法を探ることとなりました。

このほか、全日本海員組合の『海員組合 100 年史』については、同組合内での意思決定に手間取って契約の締結が遅れていましたが、令和 2 年 8 月 19 日に契約締結に至りました。組合の『活動方針』『活動報告』など主要資料については当研究所に貸し出しを受け、執筆者の閲覧に供しております。また組合役員や OB などのヒアリングも実施し、目次案の作成を執筆者に依頼しました。

研究事業ならびに出版計画としては、公益財団法人三井文庫編纂責任を持つ共同事業として継続してきました『(旧)三井物産史の研究』は、一昨年以来執筆活動が休止されていますが、出版計画としては継続されています。

『産業経営史シリーズ』につきましては、『グローバル企業』『電機産業』『自動車産業』『繊維産業 2』について、引き続き執筆を促進中です。しかし、緊急事態宣言によって執筆者は過大な大学の授業負担を負うこととなり、いずれも執筆開始時期および刊行時期とも未定の状態です。

1978 年に隔年事業としてスタートした「優秀会社史賞」は、今年度初めから第 22 回優秀会社史賞の選考作業を行い、11 月に選考委員会を開催して入賞作を決定いたしました。候補作 12 社 17 点のなかから、優秀会社史賞 4 社 7 点、優秀会社史賞特別賞 1 社 3 点が、それぞれ受賞しました。本賞は、産学協同の催しとして広く関心を持たれるようになっていきますので、そのため事務局として引き続き会社史の収集に努めております。優秀会社史賞選考以降に新たに収集した社史は約 30 社 (30 点) にのぼり、経営史料センターに収納して、内

外の研究者や社史に関心を持つ方がたに対して、広く閲覧に供しております。

日本経営史研究所が事務局を引き受けている企業史料協議会につきましては、本年度も支援活動を行ってまいります。日本のビジネスアーカイブズは、今や国際的にも関心を持たれるようになっており、今後ともいっそうの協力・支援を行なう所存です。

令和2年度の研究・出版事業および会社史等の編纂受託事業は以下のとおりです。

1. 研究・出版事業

1) 産業経営史シリーズ

『グローバル企業』『電機産業』『自動車産業』

(継 続)

『繊維産業 2』(アパレル)

(依頼済み)

2) 『(旧)三井物産史の研究』

(継 続)

2. 会社史等の編集受託

『経営は人の営み』

(中 断)

『ダイキン 100 年史』

(検討中)

『海員組合 100 年史』

(新 規)

以 上